

みずほ新興国ハイインカムファンド(目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース

追加型投信／海外／資産複合

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「みずほ新興国ハイインカムファンド(目標払出し型) 毎月決算・為替ヘッジなしコース」は、この度、信託約款の規定に基づき、繰上償還の運びとなりました。

当ファンドは、新興国の高配当株およびハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、分配実施による運用資金の一部払出しを行うことを前提として、収益の確保等を目指して運用を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年9月26日～2020年3月25日

第78期	決算日：2019年10月25日
第79期	決算日：2019年11月25日
第80期	決算日：2019年12月25日
第81期	決算日：2020年1月27日
第82期	決算日：2020年2月25日
第83期	償還日：2020年3月25日

償還日 (2020年3月25日)	償還価額	4,154.64円
	純資産総額	946百万円
第78期～ 第83期	騰落率	3.9%
	分配金合計	275円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

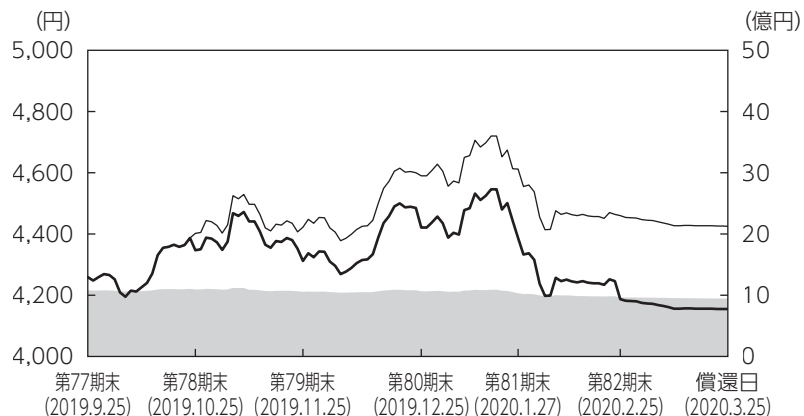
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第78期首： 4,259円
 償還日： 4,154.64円
 (既払分配金275円)
 騰落率： 3.9%
 (分配金再投資ベース)

■ 純資産総額 (右軸) — 基準価額 (左軸) — 分配金再投資基準価額 (左軸)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

当作成期については、新興国の高配当株およびハイイールド社債へ投資を行った結果、米中通商協議の進展などを背景に新興国の株式市場（米ドルベース）と新興国のハイイールド社債市場（米ドルベース）が上昇したことに加えて、米ドルが対円で上昇したことがプラスに寄与し、基準価額（分配金再投資ベース）は上昇しました。

また、当ファンドは設定来で16.4%上昇しました（分配金再投資ベース、設定来の分配金6,860円）。新興国経済の成長や安定が期待されたことから新興国の株式市場（米ドルベース）が上昇したことや、相対的に高く安定したクーポン収入などを背景に新興国のハイイールド社債市場（米ドルベース）が上昇したことに加えて、米ドルが対円で上昇したことが寄与しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第78期～第83期		項目の概要
	(2019年9月26日 ～2020年3月25日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	28円	0.644%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4,321円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(8)	(0.191)	
(販売会社)	(19)	(0.437)	
(受託会社)	(1)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	28	0.645	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

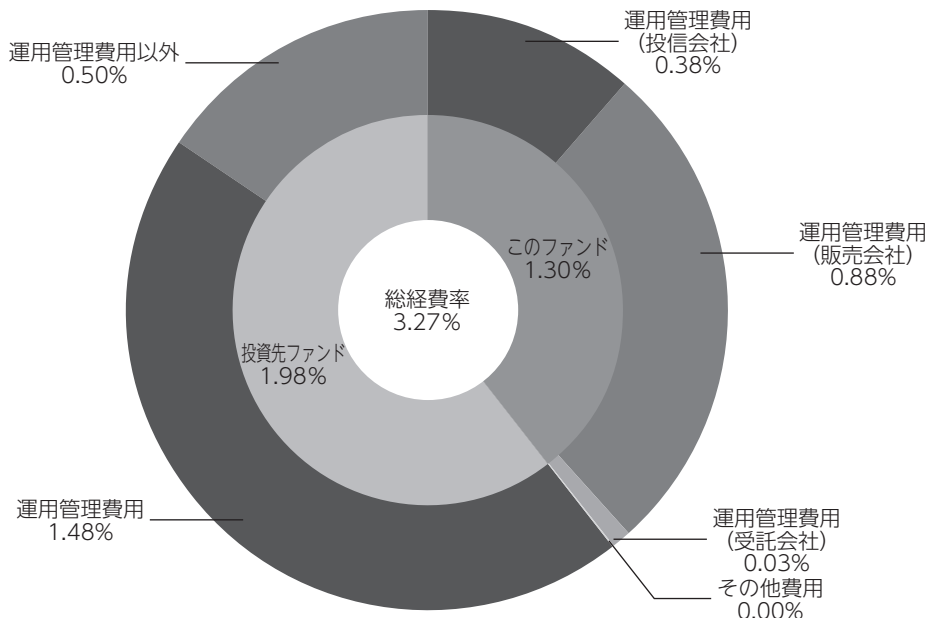
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(参考情報)

◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は3.27%です。



総経費率 (①+②+③)	3.27%
①このファンドの費用の比率	1.30%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	1.48%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.50%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

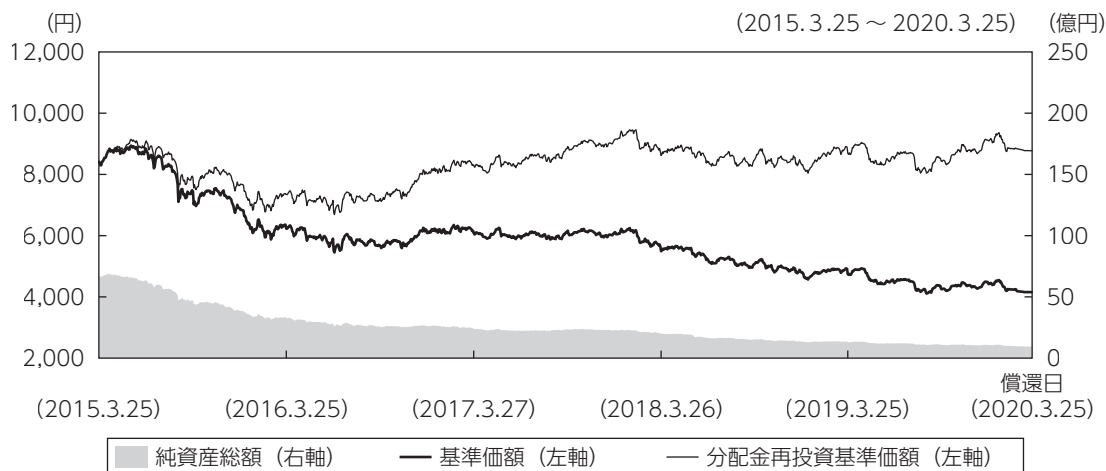
(注5) ①の費用は、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドのうちエマージング・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンドでは、源泉徴収税を含みません。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2015年3月25日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2015年3月25日 期首	2016年3月25日 決算日	2017年3月27日 決算日	2018年3月26日 決算日	2019年3月25日 決算日	2020年3月25日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	8,418	6,228	6,092	5,491	4,743	(償還価額) 4,154.64
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	1,200	870	840	785	625
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△12.8	13.2	3.7	0.9	0.9
純資産総額 (百万円)	6,761	3,261	2,406	1,972	1,307	946

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

設定来の投資環境

●新興国株式市況と為替市場

新興国株式市場（米ドルベース）は設定来で上昇しました。設定後は米国の金融緩和政策の縮小が懸念されましたが、新興国の成長や安定が期待されたことから堅調に推移しました。2015年には中国をはじめとした新興国経済の減速懸念や、中国金融市場の不安定化などを背景に市場は下落しました。しかし、2016年以降は、中国経済の安定期待や、トランプ政権による政策期待などから大きく上昇する展開となりました。2018年に入ると米国の金利引き上げや、米国の保護主義的な通商政策による世界経済への影響が懸念されたことから反落し、上値の重い動きが続きました。償還にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う世界経済への影響が懸念されたことから下落しました。

為替市場においては、対米ドルでみて、トルコリラ、ブラジルリアル、ロシアルーブル、南アフリカランド、インドルピーなどが比較的大きく下落しました。米国の金融緩和政策の縮小や金利先高観が意識される中で、全体的に新興国通貨は下落しました。対円では、米ドルが対円で上昇したことがプラスに寄与し、新興国通貨の下落は対米ドルに比べて緩やかになりました。

●新興国ハイイールド社債市況と為替市場

新興国ハイイールド社債市場（米ドルベース）は、当該期間を通じてみると上昇しました。

設定日から2016年2月頃にかけては、おおむね横ばいの推移となりました。その後2020年2月中旬にかけては、相対的に高く安定したクーポン収入や、トランプ米政権による政策期待などを背景に米国株式市場が堅調に推移したことなどが好感され、上昇しました。しかし償還にかけては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大に伴う世界景気の下押し懸念が強まる中、株式市場および原油価格の急落を受けて、反落しました。

米国国債との利回り格差（スプレッド）は、当該期間を通じてみると拡大しました。特に、償還にかけて新型コロナウイルス感染拡大による影響等を懸念し、急拡大しました。

米ドルは対円で上昇しました。設定後は米ドル高／円安傾向で推移し、特に2014年には米国の金利先高観が意識されたことなどから大きく米ドル高／円安が進行しました。2015年の後半には中国の金融市場が不安定化したことなどからリスク回避的な円買いの動きがありましたが、その後は米国の利上げ期待の高まりなどにより米ドル高／円安となり、2017年以降は比較的安定した推移となりました。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

各外国投資信託の組入比率は、エマージング・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（クラスM）を60%程度、エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラスM）を40%程度とし、組入比率の合計は高位を維持しました。

●エマージング・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド（クラスM）

主に、世界の新興国株式市場の中から、相対的に配当利回りが高く、かつ将来的にも安定的な配当収入が見込まれる銘柄を厳選して投資を行いました。国別では、中国、台湾、韓国を中心に、ブラジル、メキシコ、インド、南アフリカなどの組入比率を高めに維持し、業種別では、銀行、エネルギー、電気通信サービスを中心に、運輸、素材、公益事業、テクノロジー・ハードウェアおよび機器などの組入比率を高めに維持しました。

また、保有資産に対して為替取引は行いませんでした。

●エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラスM）

主に、米ドル建ての新興国ハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の成長を目指しました。国別では中南米の組入を高めとし、業種別では石油・ガス、情報通信などの組入を高めとするポートフォリオを維持しました。格付別配分は、BB格とB格を中心としたポートフォリオを維持し、債券の組入比率は高位を維持しました。

また、保有する米ドル建て資産に対して為替取引は行いませんでした。

分配金

当作成期の収益分配金は、決算日の直前における各外国投資信託の分配金額に基づく額を払い出すことを目標に、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てなかった収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期
	2019年9月26日 ~2019年10月25日	2019年10月26日 ~2019年11月25日	2019年11月26日 ~2019年12月25日	2019年12月26日 ~2020年1月27日	2020年1月28日 ~2020年2月25日
当期分配金（税引前）	55円	55円	55円	55円	55円
対基準価額比率	1.25%	1.26%	1.23%	1.24%	1.30%
当期の収益	55円	55円	55円	55円	55円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,999円	2,016円	2,038円	2,056円	2,075円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

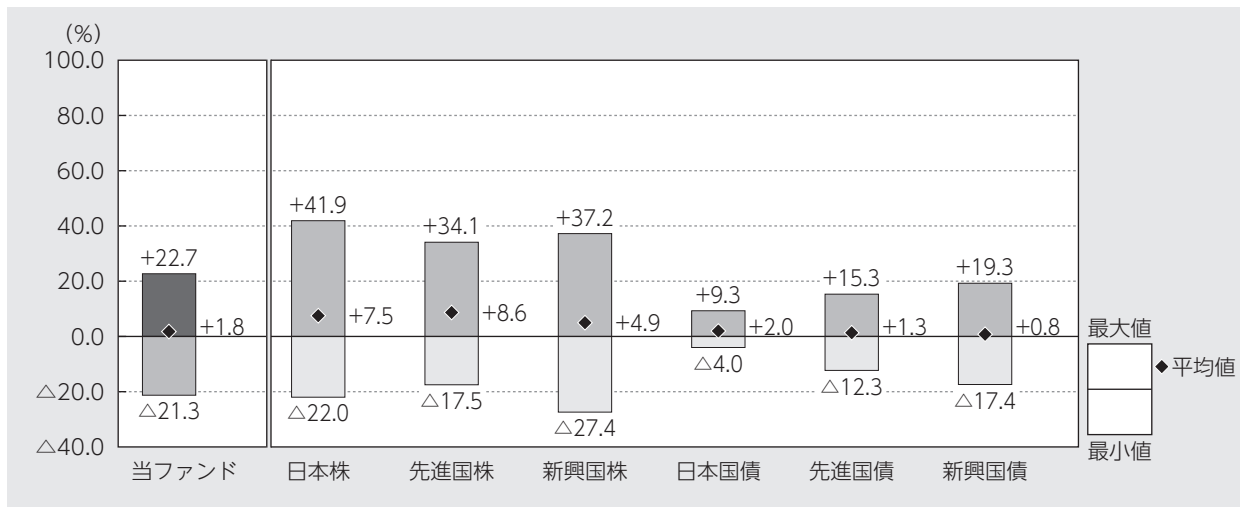
(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2013年4月8日から2020年3月25日（当初2023年3月24日）までです。	
運用方針	分配実施による運用資金の一部払出しを行うことを前提として、収益の確保等を目指して、新興国の高配当株式およびハイイールド社債を実質的な主要投資対象とし、運用を行います。	
主要投資対象	みずほ新興国ハイインカムファンド（目標払出し型） 毎月決算・ 為替ヘッジなしコース	円建ての外国投資信託であるエマージング・ハイ・ディビデント・エクイティ・ファンド（クラスM） 受益証券および円建ての外国投資信託であるエマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラスM） 受益証券を主要投資対象とします。
	エマージング・ハイ・ディビデント・エクイティ・ファンド（クラスM）	主として新興国の株式（預託証券（DR）を含みます。）を主要投資対象とします。
	エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラスM）	主として米ドル建ての新興国のハイイールド社債を主要投資対象とします。
運用方法	各外国投資信託（クラスM）への投資を中心にを行い、投資対象ファンドの合計組入比率は、高位を維持することを基本とします。 株式・債券への基本投資割合は、高配当株を60%、ハイイールド社債を40%とします。 エマージング・ハイ・ディビデント・エクイティ・ファンド（クラスM）は、保有資産については米ドル売り・円買いの為替取引は行いません。 エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド（クラスM）は、米ドル建資産については米ドル売り・円買いの為替取引（為替ヘッジ）は行いません。	
分配方針	毎期、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額の範囲とします。 分配金額は、原則として、決算日の直前における各組入外国投資信託の分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託会社が決定します。 なお、各外国投資信託の分配額は、投資収益に基づき支払われるものではなく、原則として、12ヵ月ごとに到来する特定日の1口当たりの純資産価格に所定の率を乗じて得た額に基づき分配金額が決定されます。結果として、当ファンドから分配される分配金額の一部または全額が、実質的な投資元本の払戻しにより行われることがあります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2015年3月～2020年2月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年3月25日現在）

当ファンドに組入れておりました有価証券は作成期中に全て売却いたしました。

◆資産別配分



その他
100.0%

◆国別配分



その他
100.0%

◆通貨別配分



その他
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

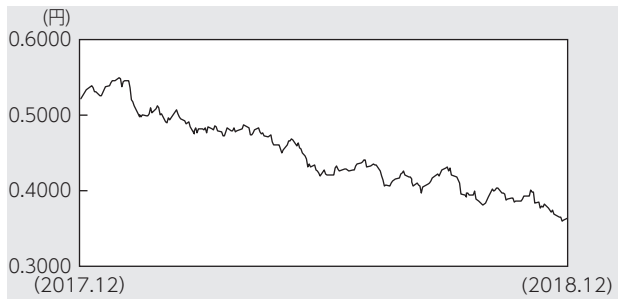
項目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	償還時
	2019年10月25日	2019年11月25日	2019年12月25日	2020年1月27日	2020年2月25日	2020年3月25日
純資産総額	1,093,915,126円	1,054,866,656円	1,065,472,399円	1,033,181,551円	965,331,236円	946,147,203円
受益権総口数	2,516,384,260口	2,446,268,871口	2,410,083,230口	2,355,141,950口	2,305,782,561口	2,277,325,613口
1万口当たり基準（償還）価額	4,347円	4,312円	4,421円	4,387円	4,187円	4,154.64円

(注) 第78期～償還時における追加設定元本額は50,000円、同解約元本額は256,620,276円です。

組入ファンドの概要 ※償還時における組入ファンドはありません。

[エマージング・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド (クラスM)] (計算期間 2018年1月1日～2018年12月31日)

◆基準価額の推移



◆1万口当たりの費用明細

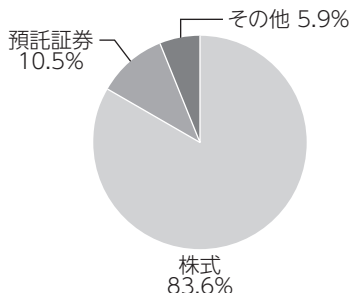
当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

◆組入上位銘柄

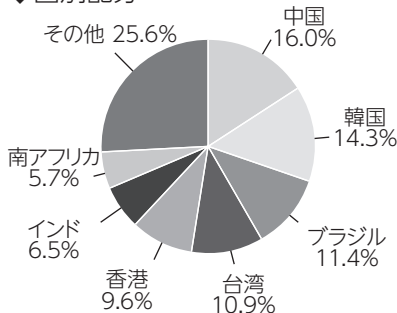
(組入銘柄数：111銘柄)

順位	銘柄	資産別	比率
1	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	普通株式	4.2%
2	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING CO LTD	普通株式	3.9%
3	CHINA CONSTRUCTION BANK CORP	普通株式	2.0%
4	INDUSTRIAL & COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	普通株式	2.0%
5	CHINA MOBILE LTD	普通株式	1.9%
6	BANCO BRADESCO SA	優先株式	1.9%
7	B3 SA - BRASIL BOLSA BALCAO	普通株式	1.7%
8	ICICI BANK LTD	預託証券	1.7%
9	BANK RAKYAT INDONESIA PERSERO TBK PT	普通株式	1.7%
10	TELEKOMUNIKASI INDONESIA PERSERO TBK PT	普通株式	1.6%

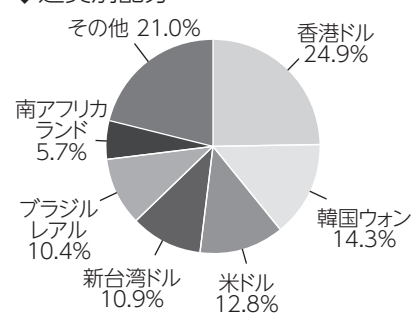
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 上記は、委託会社が入手した直近の計算期間末のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分および通貨別配分は、当ファンドの実質的な投資先である「エマージング・ハイ・ディビデンド・エクイティ・ファンド」の内容になります。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分および通貨別配分については投資有価証券評価額合計に対する割合です。

(注4) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

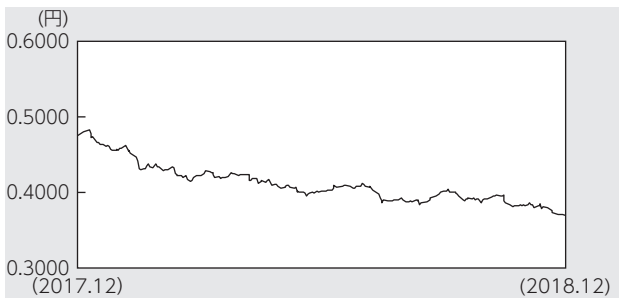
(注5) 株式には優先株を含みます。

(注6) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注7) 当ファンドが保有する全銘柄に関する情報につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

[エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド (クラスM)] (計算期間 2018年1月1日～2018年12月31日)

◆基準価額の推移



◆組入上位銘柄

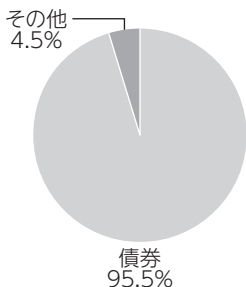
(組入銘柄数：53銘柄)

順位	銘柄	比率
1	PETROBRAS GLOB 5.299% 01/27/25	7.5%
2	PETROBRAS GLBL FIN. 6.85% 06/05/2115	6.6%
3	TC ZIRAAT BANKAS 5.125% 05/03/22 REGS	3.4%
4	ITAU UNIBANCO/K 5.650% 03/19/22	3.0%
5	ULTRAPAR INTL 5.250% 10/06/26 REGS	3.0%
6	MILLICOM INTL 6.000% 03/15/25 REGS	2.8%
7	COUNTRY GARDEN 7.50% 03/09/20	2.5%
8	VIMPELCOM HLDGS 7.50% 03/01/22	2.4%
9	PUMA INTERNATION 5.000% 01/24/26 REGS	2.3%
10	TURK TELEKOM 4.88% 06/19/24	2.2%

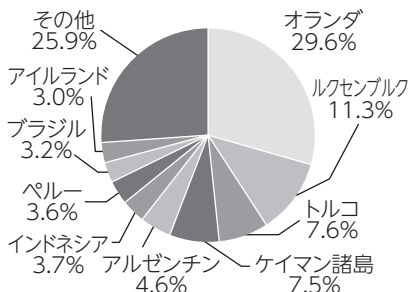
◆1万口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能なため開示しておりません。

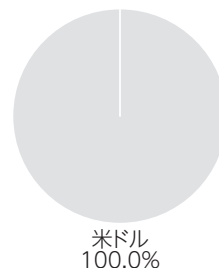
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 上記は、委託会社が入手した直近の計算期間末のものであります。

(注2) 組入上位銘柄、資産別配分、国別配分および通貨別配分は、当ファンドの実質的な投資先である「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド」の内容になります。

(注3) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分および通貨別配分については投資有価証券評価額合計に対する割合です。

(注4) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注5) その他は100%と配分比率の合計との差になります。

(注6) 当ファンドが保有する全銘柄に関する情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス(除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

